

春季 県高校野球

第2日

春季県高校野球選手権第2日は20日、六戸メイプル、八戸市長根公園、八戸市東運動公園の3球場で2回戦8試合を行い、8強が出そろった。昨春県大会を制した八戸西はシリーズゲームの末、青森南を破った。三本木は追いつがる五所川原を5-4で振り切った。弘前東は大湊との接戦を制した。青森東は五所商を7-1で破った。八工大一、青森山田、八学光星、聖愛の強豪勢も順当に勝ち進み、8校は準々決勝に駒を進めると同時に夏の県予選シード権を獲得した。第3日は21日は4強入りを懸け、六戸メイプルと八戸市長根公園で計4試合を行う。

(本紙取材班)

きょうの試合

(左のチームが一塁側)

▷ 準々決勝

◇ 六戸メイプル

八工大一-弘前東(10・0)

青森山田-青森東(12・30)

◇ 八戸市長根公園

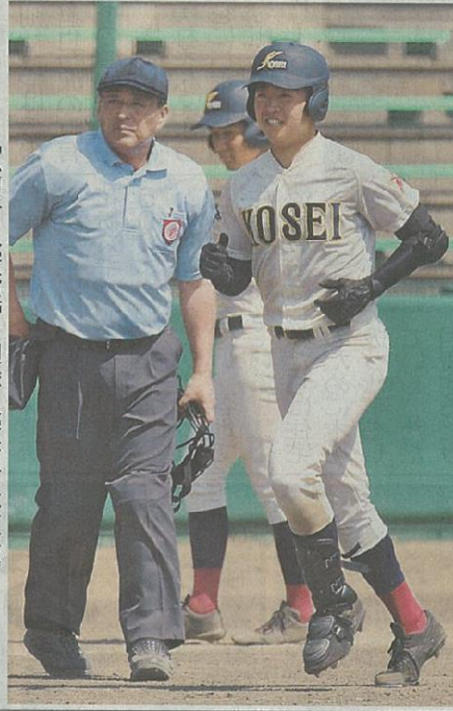
八学光星-三本木(10・0)

聖愛-八戸西(12・30)

光星 序盤に猛攻

弘工、投手陣乱れる

▽2回戦(六戸メイプル)
弘前工
01000000
23300100×9
八学光星
(七回コールド)



【弘前工-八学光星】5回裏、八学光星1死、左翼席に本塁打を放ち、三塁を回る福山(六戸メイプル)

(弘)岡部、吉成、須藤、齋藤、遠坂
(八)福山、齋藤
▽本塁打 福山(八)
▽二塁打 齋藤、弘花房(八)
▽ホーク 岡部(弘)
【評】八学光星は初回2死二塁から、4番小池が三遊間を鋭く破る適時打で先制。5番馬場も左前通時打で続き2点をり。二回には四球でつくれた好機に1番吉田が中前打できっちり返すなど、3单打で3点を加え主導権を握った。

○：秋の県大会、東北大会とも優勝を逃した八学光星が初戦を快勝した。打線は連打を封じられ、先制適時打を放ちず

「この春こそ優勝」
チームを鼓舞した主砲小池は「この春こそ必ず優勝を取りに行く」と闘志をむき出しにした。

2年生エースの福山は「立ち上がりは大事にいきすきた」と反省を口にしたが、フォークを中心に6奪三振と力投した。五回の打席では高校で初めてという本塁打もマーク。「点差が開いていたし、バットを短く持って狙った。うれしいです」と笑みがこぼれた。